

## 平成27年 東北大学前期日程試験【国語】問題分析

### 1 今年（H27）の傾向

#### 総評

全体としては標準的な難度であった。今年度の特徴としては、解きやすい問題と解きにくい問題にはっきりと二極化している点がある。したがって合格点を取るためには、易しい問題で確実に得点し、難しい問題では過度に完成度の高い解答を作ろうとせず、部分点を狙ってあまり時間をかけないようにすることが必要だろう。

#### 現代文

評論は文章が短く、内容も比較的平易。本文のどこを踏まえて解答を作ればよいかも分かりやすく、受験生としては取り組みやすかったろう。小説は前半の問いは平易であったが、後半の問題はややまとめにくい。解答する上では「想像力」という言葉が軸になる。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

#### 来年受験する生徒へのアドバイス

解答のイメージが浮かばない問題が出てきたら、あまり時間をかけずに先に進むこと。

## 古文

近世の狂歌師の評伝からの出題。このような出典は珍しい。ストーリーはつかみやすく平易な問題もあったが、俳句や狂歌をまるごと解釈させる問題は受験生には難問と感じられたのではないだろうか。こうした問題は白紙のままにせず、とにかく分からないなりにまとめてみるのが重要である。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

知識問題で失点しないこと。また、「うてな」といった雅語に注がついていない場合、無理に訳さずそのまま解答に用いて構わない。

## 漢文

過去2年と比較して大幅に易化した。基本的な知識を問う問題が多いが、最後の2問は字数制限が厳しく、まとめづらい。具体的に書きすぎると制限を超えてしまうので必要最低限の内容を盛り込めば良い。

合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（％）予想

文学部	55%	法学部	60%
教育学部	55%	経済学部	55%

来年受験する生徒へのアドバイス

基本的な語の読みや句法はしっかりマスターすること。コンパクトに説明する練習も積むとよい。